



## 「一喜一憂するな！」とは・・・



長いようで「アッ」という間だった2学期が終わります。色々なことがありましたが、みんなそれぞれ、自分なりの目標に向かってよく努力できた2学期だったと思います。授業中、テスト、係活動、専門委員会、体育大会、合唱コンクール、修学旅行、校外学習、生徒会活動、部活動、校外での文化やスポーツの活動等々、多くの場面で全校生徒の活躍が、キラキラ輝いていました。その中で、全国に富島中の名前をまた改めて知ってもらった「ラグビー部」、水泳の「川添恵太郎君」の活躍は、特筆すべき内容でした。本当にやる全員がよくがんばった2学期でした。

しかし、一方、残念な事件もいくつか起こりました。ほとんどの皆さんにとっては、直接関係のない内容だったかもしれませんが、それでも、それぞれ自分の方のこととしてとらえ、その場、その場で粘り強く踏み張り、乗り越えてきてくれました。みんなの勇気とがんばりに敬意を表します。そして、ありがとう!!

多くの感動を届けてくれたサッカーワールドカップでの日本代表の戦いの中で、森保監督がドイツ戦勝利後、選手に伝えた言葉、「一喜一憂するな!」を2学期を終えるみんなにも贈りたいと思います。(先日の集会で話しましたが)

上記のように、この2学期も、良い事もあれば、残念な事もありました。楽しい日もあれば、悲しい日もあったことでしょう。辛い時は、大声で笑ってもいいし、辛い時は、思い切り泣いてもいいんです。しかし、「「一喜一憂するな!」を大きく動かすにはせず、今やるべきこと、自分が向き合うべきことを見逃さず、ひとつひとつ丁寧にこなすことが大切だということ。それが、少々のことは左右されない、ブレない、筋力を作っている、これなんです!!

## 保護者の皆様、地域の皆様へ



多くの心配をかけた2学期でした。職員一同、日々全力で、職務にあたりましたが、行き届かない面や対応に欠ける面が多々あり、色々な場面でご心配をかけたと思います。

しかし、上記の通り、生徒達は、この伝統ある富島中の一員として、誇りを失わず、まわりの友達と大切に、一日一日本当によくがんばっています。「森保ジャパン」に負けないくらいの元気や感動を地域の皆様にも届けてほしい。生徒、職員、皆で力を合わせ、日々の活動に精一杯取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。皆様、よいお年を!!